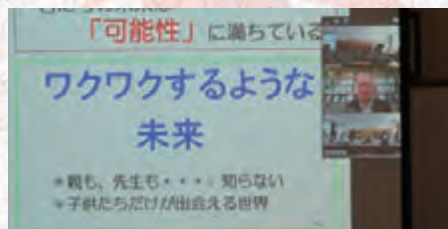




延岡商業高校 オンライン授業 <君たちはどう生きるか> ～君たちの未来は可能性に満ちている～

延岡商業高校の1年生(商業科・会計科)の2クラスを対象に、延岡市キャリア教育支援センター長の水永正憲さんが、オンラインによる講話を行いました。講話は、標記のテーマで、「働くことについて」や「自分にとって幸せとは何だろう」という内容を中心に進められました。いろいろな事例やグループワークを交えての講話でしたので、生徒も関心を持って参加していました。生徒は、今後、他のよのなか先生の講話を聞いたり、対話をしたりしながら、働くということについてまとめていくことになります。



アルバイトも貴重な体験

土々呂中学校 校長 三輪 勝

私は、大学時代に様々なアルバイトを経験した。交通量調査、トラックでのスイカ販売、リース会社でのペンキ塗り、スーパーでの販売、飲食店での接客、建材会社での製造作業、家庭教師と職種は多岐にわたる。建材会社での製造作業では、最初の2日間で体中が筋肉痛になったが、自動車学校の教習代が全額払えるほどの高給だった。トラックでのスイカ販売では、スイカが売れそうな住宅地を選び、試食を提供していかにかくさん売り上げるかを工夫した。リース会社でのペンキ塗りでは、従業員に叱られながら、どうすれば鉄柱にきれいにペンキが塗れるかを習得した。アルバイトはもちろん生活のためであったが、今振り返ると、その体験が後の教職人生に生かされたように思う。大学では教育学部に在籍したが、教員になる決意をしたのは、このアルバイトの経験と最後に行った教育実習が決め手だった。世の中のことを知るためにも、いろんなことにチャレンジするべきである。ちなみにスイカの善し悪しは今でも見分けられる。



「学校外の教育力をコーディネートする力」

恒富中学校 校長 瀬戸山 初博

7、8年前だと思うが、ある研修会で企業の採用担当者の話を聞いた。その講師は、「就職活動をしている学生に接していると、動物園で育てられたライオンを、いきなりアフリカの原野に解き放とうとしているような感覚を覚える。」と話された。(その講師は、現在、市教委で学校支援対策監を務めておられる伊東洋之氏である。)



教職員は、その多くが、自分が児童生徒だった頃を含めて学校周辺だけで生きてきている。そんな教職員が、職業や実社会のことについてどれだけ生徒に伝えられていたのだろうかと自分のこれまでを振り返って思う。

先日、本センターのビデオメッセージを観た。市内のキュウリ栽培の方や養殖業の方の体験を通した話は、その生き方も含めて心に響いた。きっと生徒の心にも届くと思った。社会に開かれた教育課程が求められる今こそ、学校は学校外の教育力をコーディネートしながら、より効果的で生徒の心に響く教育活動を行うことが求められている。

「社会に出る前に」

港小学校 校長 山下 力

子供の頃から、マンガ家・獣医師・通訳等、夢ばかりは多く、大学卒業後、専門学校に入り直そうと東京へ行きました。そこで、圧倒的な人の多さや、どこにも所属しないことへの不安を感じました。「何とかなるさ。」という自分の見通しの甘さを痛感すると共に、「生きる場所は、東京でも宮崎でも同じだ。人と関わり合える仕事がしたい。」と思いました。

何とかするためには、目標を絞って努力するしかありません。教員になれた時、心から「この仕事を大切にしていきたい。」と思いました。

こうした自分を振り返ると、キャリア教育の重要性を強く感じます。将来自立していくために、学校教育の中で、自己肯定感・自己理解力等を育ててあげたいと思います。小学校段階で、自分のよさに気づき、多くの仕事がある事を知り、様々な方の具体的な話を聞く機会をもてたらと思います。

延岡の子供達が、夢を抱き精一杯、自己実現できる事を願います。



可能性の扉を開く

旭小学校 校長 大崎 陽子



一人一人の子どもには可能性がある。その可能性の扉を叩くことは、教育の役割の一つであると思う。扉を叩いた時に、興味関心を抱き、おもしろさや楽しさを感じたり、そこで出会った人や事に大きな感動を覚えたりする子どもがいるであろう。その感動こそが、可能性の扉を開き、その子どもを生かし伸ばす、一つの出会いとなるのである。そんなキャリア教育を進めたいと考えている。

私の考えるキャリア教育には、①人間としての規範意識の醸成 ②本物やプロとの出会い等、見る・知る・感動する・体験する、感動体験の場の設定 の2つの柱がある。

昨年度、延岡の老舗「虎彦」の社長さんと菓子職人さんを講師として、和菓子についての話を聞き、実際に和菓子作りをした。お二人は、自分の仕事への誇りと情熱を持っておられたことが強く心に残っている。この経験を通して、「和菓子職人になりたい」と言った子どもがいた。この子どもは、この時間がなければ、そう思うことはなかったかもしれない。可能性の扉が開かれた瞬間である。

～キャリア教育実践交流会～

10月15日(木)19時より 社会教育センター会議室2
今回は、上南方小中学校の松ノ木先生に、キャリア教育の実践について発表していただきます。

延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0824 宮崎県延岡市中央通 3-5-1 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682 <http://nobeoka-career.jp/>

水永正憲 ☎ 080-4002-8167 敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539 酒井康行 ☎ 090-2587-7837
✉ mizmas228@gmail.com ✉ sate815@ma.wainet.ne.jp ✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp